

★ 提案22の賛成意見 ★

問題: アプリベースの運転手を独立請負業者として働くことを違法とする過激な新たな立法の脅威

Sacramento郡の政治家たちは、最近California州の人々がアプリベースの自動車相乗りサービスや食料品配送サービスを提供する独立請負業者として働くことを選ぶ能力を排除する法を可決しました。

独自の調査によると、4対1の差で、圧倒的な割合のアプリベースの運転手が、従業員ではなく独立請負業者として働くことを希望していることがわかります。これらの運転手は他の仕事、家族の義務、または健康上の問題から、仕事を続けるための融通性や、家族を支えるための追加収入を必要としています。

アプリベースの運転手に対する独立請負業者の仕事を禁止すると、数十万の仕事が消滅することになる

「運転手が独立請負業者として働くことができなくなると、大半の運転手が融通性を失い、顧客と運転手を素早くマッチングする実績のあるオンデマンドモデルに大打撃を与えます。その結果、待ち時間は大幅に長くなり、消費者価格は大きく上がり、多くの分野でサービスが恒久的に停止し、数十万の仕事が失われます」—無党派元州立法アナリストWilliam Hamm

解決策; 提案22に賛成して、独立請負人として働く運転手の力を守り、新たな手当を給付する

提案22に賛成:

1. 保護 何百万人もの人が経済的に苦しんでいるとき、アプリベースの運転手が独立請負業者として働くことはCalifornia州の仕事の救済策となります。
2. 改善 アプリベースの仕事に対し、最低賃金の保証を含む新たな手当を与えることを企業に要求します。• 医療補助基金 • 業務上の負傷に対する医療および障害補償 • ハラスメントや差別に対する追加の保護。
3. 新規創生 公共の安全保護を拡大します。これには継続的な身辺調査と安全教育の義務付けなどが含まれます。• 薬物やアルコール違反の禁止 • 運転手のなりすましには刑罰を適用。

提案22に賛成: アプリベースの運転手は4対1で独立を希望

運転手の80%以上が週に20時間未満勤務している。彼らには他の仕事や責任があり、従業員としてのシフト勤務ができません。• 子供が学校にいる間に働く親。• 高齢の親などのために不規則な時間に働く家族。• 補助的な収入が必要な働く家族、定年退職者、および学生。

「私は障害者の退役軍人で新しい仕事の準備のために学校に戻ります。私は提案22を強く支持します。私は診療の予約と学校に合わせて働く必要があり、この法案は柔軟に働くことを守ってくれるからです」—海軍退役軍人および食料配達運転手Matthew Emerson

「私は5人の子供を持つ母親で、フルタイムで働いていますが、私は収入を補うために、一週間数時間の柔軟性のある、独立した仕事が必要です。そうでなければ、私の家族は経済的にやっていけません」—母親および自動車相乗り運転手Brenda Vela

提案22に賛成して、自動車相乗り会社と食料配送サービスを手ごろな価格で安全に利用できるようにする

提案22は、何百万人の人々が食料品や医療品、温かい食事を家庭に届けてくれることに頼っている配送サービス、そして、移動の自由や道路から飲酒運転をなくしてくれる自動車相乗りを保護します。

提案22に賛成: 運転手、小規模事業主、社会正義提唱者、公安委員長などから支持

アプリベースの運転手の圧倒的多数が支持 • California Small Business Association (California中小企業協会) • California State NAACP (全米黒人地位向上協会、California州会議) • California Peace Officers' Association • National Hispanic Council on Aging • California Senior Advocates League • その他100以上の組織。

www.VoteYesProp22.com

BETTY JO TOCCOLI, 代表

California Small Business Association (California中小企業協会)

JIM PYATT, 代表

Independent Drivers Alliance of California

MINNIE HADLEY-HEMPSTEAD, 代表

NAACP Los Angeles (Los Angeles全米黒人地位向上協会)

★ 提案22の賛成意見に対する反論 ★

私の名前はJerome Gageです。私はLyftの運転手を五年以上継続しています。融通が利くので気に入っています。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 以前は、一週間に40時間運転していました。現在勤務時間は減少しており、その理由は理解しています。

理解できないのは、California州の法律だといって、UberやLyftが私を従業員として扱うのを拒否することです。

現在最低賃金や残業手当は支払われていません。有給の病欠休暇ありません。これらの企業はその経費をビジネスに回しているのです。これは間違っています。

提案22に反対票を。

これらの企業は、「重要な資産である」従業員が医療や保護を受けるに値しないと考えているのです。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が打撃をあたえても、企業は失業保険さえ与えてくれませんでした。

しかし、提案22の投票のために\$5,000,000を支払ったのです。そして、可決されるよう、さらに\$1億支払うのです。私のような運転手であれば、我々や顧客の安全を守るために、個人用保護や衛生施設にそのお金を使っていたでしょう。病気になったら、医療を受けられるように。

UberやLyftは「私が独立を希望している」と主張しています。私が本当に望んでいるのは安全と生活費のお金です。そうすれば、私は独立できます。

最近の調査ではUberやLyftの運転手の70%は私と同じように週に30時間以上働いており、提案22の下では賃金がさらに悪くなるとされています。これは公平でしょうか？

数十億ドル規模の企業は、提案22のような自身が守る法律を選んだり、自身で作成したりするべきではありません。

5万人の運転手を代表する運転手グループに参加してください。提案22に反対を。

JEROME GAGE, LYFT運転手

★ 提案22の反対意見 ★

Uber、Lyft、およびDoorDashは提案22について、11月に選挙をするためにお金を払いました。彼らは人を惑わす計画を作成するために弁護士を雇い、必要な有権者の署名を集めるために政治工作員に数百万ドルを支払いました。

なぜでしょう？

運転手の基本的な権利や仕事上の保護（病気休暇、労災補償、失業手当など）を法的に否定する特別な免除を自分の会社のために作るためです。

提案22が適用されるのは、Uber、Lyft、DoorDashとアプリベースの配送会社と自動車相乗り会社だけです。目的は利益です。特別な免除で利益を得るのはこれらの企業だけです。

現在の法律ではCaliforniaの他の企業と同じよう

に、Uber、Lyft、DoorDashは運転手に最低賃金、医療、有給病気休暇、失業手当、労働者補償を提供しなければなりません。司法長官はこれらの企業が法律を破り、長年運転手への責任を負うことを絶え間なく避けてきたとして最近訴訟を起こしました。あなたの一票で、これを止めることができます！

提案22に反対票を投じてください。

提案22に反対票を投じる理由

- 提案22は仕事場での基本的手当をなくし、企業の経費を削減することを目的とした新たな安い「収入保証」と「医療補助金」の支払いに置き換える特別な免除を作ります。
- 提案22は運転手の保護を強化していると納得させようとする虚偽的な表現が含まれています。実際は、UberとLyftはすでに身辺調査を行うことが義務付けられており、新たな規則では、必要とされるセクシャルハラスメントトレーニングやUberとLyftの顧客や運転手のセクシャルハラスメントの苦情の調査義務を廃止することになります。
- 結論：提案22はすべてお金の問題です。これらのアプリを利用しているなら、提案22は運転手を助けることにはならないと理解すべきです。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行で、これらの企業は運転手を公平に扱うことを拒否しているということが明らかになりました。

The New York Times編集者委員会は、最近これらの企業について次のように書き記しています。「パンデミック中に十分なマスクやソーシャルディスタンスのガイダンス提供など一貫した安全対策を行うことに失敗した一方で、食料配達の需要の拡大に対応するために、莫大な注文を満たすように労働者に強制した。」

これらの運転手の78%が有色人種であり、不可欠な存在です。パンデミックの中、彼らCalifornia州を助けています。もっと良い待遇を受けるべきです。

我々は、ラテン系、黒人、他の有色人種の地域社会の多くのアプリベースの運転手たちは、病気休暇、医療、失業手当、スケジュールの柔軟性を持つべきだと信じています。

Uber、Lyft、DoorDashはこの問題を混同してはいけません。これらの企業は「パートタイム」運転手の問題は「柔軟性」だと主張しています。しかし、現行の法律では運転手の柔軟性を制限していません。

実際、California大学の調査では、運転手の大半がパートタイムではなく、UberとLyftの運転手70パーセント以上は週30時間以上働いています。

我々の言葉が信じられない場合は、ご自身で transform.ucsc.edu/on-demand-and-on-the-edge でご確認ください。

提案22はUber、Lyft、DoorDashが自分の会社のために作ったもので、運転手のためではありません。だからこそ、何万人もの運転手が参加して、反対票を呼び掛けました。

Uber、Lyft、DoorDashに特別法を作らせないでください。

提案22に反対票を投じましょう。

NOonCAProp22.com

ALVARO BOLAINIZ、UBER運転手

NOURBESE FLINT、事務局長

Black Women for Wellness Action Project

ART PULASKI、事務財務長官

California Labor Federation

★ 提案22の反対意見に対する反論 ★

圧倒的な数のアプリベースの運転手が提案22を支持

独自の調査によると、4対1の差で、アプリベースの運転手は、独立請負業者として働くことを希望していることがわかります。運転手の80パーセントは週20時間未満、大半は週10時間未満しか働いていません。子供のスケジュール合わせて柔軟に働く必要がある親、副収入が必要な人、病気や高齢の大切な人の世話をしている家族、授業の合間に稼ぐ学生。

しかし、提案22に反対する背後にいる政治家や特別な利益団体は、運転手には何が最善かを自分たちが知っていると辛辣に主張します。アプリベースの運転手を独立請負業者として働くことが違法となる恐れがある州法を可決しました。

これが運転手が提案22を支持する理由です。柔軟な収入の機会を守り何十万の仕事を救うためです。

提案22はアプリベースの仕事とサービスを救う

提案22は運転手が独立請負業者として働く選択を保護します。提案22は、何百万人の人々が食料品などに安全にアクセスできる配送サービスと移動の自由や道路から飲酒運転をなくしてくれる自動車相乗りを保護します。

提案22により、企業は運転手に歴史的な新しい手当の提供を義務付けられます。

- 最低時給21ドルの収入を保証。
- 週15時間勤務で医療給付金付き。
- 仕事での負傷に対する保険。
- 差別やハラスメントに対する保護の強化。

提案22により新たな消費者安全保護が強化されます。

提案22により継続的に運転手の身辺調査が実施されます。

- 薬物やアルコール違反の禁止
- 運転手のなりすましを犯罪とする。

アプリベースの運転手、社会正義団体、小規模事業主、および公共安全指導者たちと力を併せましょう：提案22に賛成を！

VoteYesProp22.com

JIM PYATT、代表

Independent Drivers Alliance of California

FREDDYE DAVIS、代表

Hayward South Alameda County NAACP (Hayward South Alameda郡全米黒人地位向上協会)

JULIAN CANETE、代表

California Hispanic Chambers of Commerce